

# 日本海がなかったはなし

今年の夏はあまり暑くありませんでしたが、みなさんは海水浴に行きましたか？みなさんが泳いだ海は、きっと日本海ですね。私たちの住む富山県は日本海に面しており、私たちにとって日本海はとても身近な存在です。この日本海の歴史をふりかえってみましょう。

今から約2万年ほど前、地球は今よりもずっと寒い氷河時代にありました。海から蒸発した水は雪となって大地に降ります。気温が低いので、降った雪はとけることなく大地に残ります。つまり海から蒸発した水は大地にどんどんたくわえられていき、海の水はだんだんと減っていきま

す。すると、それまで浅い海だったところが陸になります。右の図は、約2万年前の日本海周辺の地図です。日本列島は中国大陸と陸続きになっており、日本海は大きな湖だったことがわかります。このころ、陸続きになった中国大陸から、ナウマンゾウやヘラジカなどの大きな動物たちが日本へとやってきたのです。

では次に、もっと前の時代、今から約1500万年前の日本を見てみましょう。このころは、恐竜の時代が終わり、ほ乳類が栄えていましたが、人間はまだこの世に現れていませんでした。



—— 現在の海岸線  
—— 2万年前の海岸線

下の図は今から約1500万年前の日本付近の地図です。日本列島は、いくつかに分かれて、朝鮮半島とロシア極東部との間にすっぽりとおさまっています。なんと約1500万年前には日本海はなかったのです。このことは朝鮮半島と日本、そしてロシア極東部の地質を調べるとよくわかります。約1500万年前よりも古い地層は、朝鮮半島～日本～ロシア極東部と、よくつながりますが、それより新しい地層は全くつながりません。日本海は今から約1500万年前にできたと考えられます。

では、どうして日本列島の形が変わるようなことがおきるのでしょうか。実は、地面は私たちの気づかないスピードでゆっくり動いています。そのスピードは速いところでも1年間で10cm程度です。ところがそんなスピードでも1000万年たてば1000kmも動くことになります。また、地面は同じ方向に動いているのではなく、場所によりいろいろな方向に動いています。そのため、地球上の大陸や島々は、長い長い時間をかけてどんどんその形を変えているのです。日本列島や日本海は、地球の長い歴史の中で偶然作り出されたのです。今から1000万年後には、日本列島や日本海はどのような形になっているのでしょうか。



—— 現在の海岸線  
—— 1500万年前の海岸線

(ささき みぎわ)



## 富山市科学文化センター

〒939-8084 富山市西中野1-8-31 (TEL. 076-491-2123)  
<http://www.tsm.toyama.toyama.jp/>